



古き良き農村の在り方を大切にしながら、新たな取り組みに挑戦している仲間達。それが金屋本江アイリスファームを取材して感じた第一印象だ。金屋本江アイリスファームは6次産業に取り組み、農業や水産業といった第一次産業から食品加工・流通・販売まで業務展開している経営形態のこと。この6次産業に村全体で取り組むため、平成11年に25の生産組合が1つとなつて活動がスタートした。金屋本江の小川や用

農業あつてこそその農村

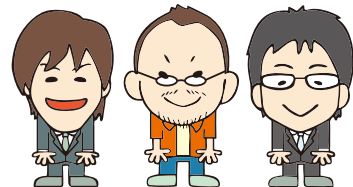
金屋本江アイリスファーム
代表 上田 成志

No.68

水に花菖蒲が咲いていたことから、花菖蒲の英訳である「アイリス」を組合の呼称に取り入れたそう。世代や世帯を越え、経営として成り立つ持続可能な農業を村全体で目指している。

「結局は村づくりです。」
そう語るのには、金屋本江アイリスファーム代表の上田成志さん。集落全員が参加している宮農組合ならではの言葉だ。金屋本江アイリスファームでは結婚を理由に市外で離れて暮らしている村の出身者も農業に参加して

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人とのつながり」で紹介していきます。



もらっているとのこと。さらに感心させられるのは、集落の中にある非農家の2軒にも協力してもらっているという点。農業への興味関心が薄れ様々な問題が深刻化している昨今、とても興味深い話題である。

決して楽な作業ではない農業に集落全員が協力的なのは何故か、そう疑問に思った矢先、代表の上田さんが穏やかな口調で語ってくれた。

「村の絆です。農業があつてこそその農村。」
一切の無駄を省いたシンプルなお答えだ。だが、そういった単純明快な理由だからこそ多くの村民の心に響いたのではないだろうか。取材した私達の心をも温かくしてくれた。

「いろいろな栽培方法に挑

戦していききたい」代表の上田さんが今度は満面の笑顔で楽しそうに語ってくれた。金屋本江アイリスファームではミルキークイーンという品種の米を海藻肥料で栽培した「海藻のちから」を販売している。海藻肥料によって土壌の微生物を増殖させ、土づくりと深水管理で病害虫に強い健康な稲づくりを行っている。海草の旨味成分も米に取り入れることが出来るという。野菜も大豆・里芋・サツマイモ・トマト・玉葱、様々な品種を栽培。特にトウモロコシの出来は評判。近隣の民家に振舞ったところ、大好評で市外からも問い合わせがあった。代表の上田さんは「面倒くさがらずに、農業に真摯に取り組んだ結果だと教えてくれた。見習いたい点が数多くある組合だと感心させられた。最後に、代表の上田さんは一枚の感謝状を見せてくれた。大谷小学校農場の栽培に協力した際に、児童から頂いた物だそう。金屋本江アイリス



金屋本江アイリスファーム
〒932-0812
富山県小矢部市金屋本江487-4
TEL 0766-67-6568

ファームでは地域の子供達とも交流し、農業の楽しさや重要性を伝えていく。「児童を農業用の機械に乗せてあげたら、とても喜んでくれた。」
「菖蒲園の中で児童と集合写真を撮ったのが良い思い出」と嬉しそうに語る上田さんは代表の顔ではなく「おじいちゃん」の顔になっていた。

まさに世代や世帯を超えた交流。古き良き農村がここにはある。是非、アイリスファームで採れた米や野菜を食べてみたいと思った。収穫の時期が待ち遠しい。

六次産業への道は厳しいよ



店長の一言

小矢部市シンボルキャラクター「メルキークン」グッズの販売
地元のお店紹介・特産品のプレゼント企画を随時開催

Oyabe Local SHOP

旅行のインターネット利用
プレゼントもGET!!

<http://www.startaro.com/shop/>

小矢部の人と人、人と企業、企業と企業の架け橋
北陸の十字路からの情報発信システム

Oyabe Local SNS

登録無料の小矢部の
最新情報をGET!!

<http://sns.startaro.com/>

口コミ情報、おもしろ情報を集めたメルマガ
「ありがとうプロジェクト」スタートしています

Oyabe Local Mail

盛りがたで実質的
大分読者様中!!

<http://oyabelocalmail.blog27.fc2.com/>